

道東地区教会連合会機関誌



道東 こ う ほ う 光 報



'DÔTÔUKÔHÔ', Journal of KONKOUKYOU East Hokkaido reg., No.19 Oct.,2007

神様へのお礼

道東地区信徒会委員長 池亀徳和

今年の七月の道東地域は、よい天気にも恵まれず気温も低かったことから、農作物の生育を心配しておりましたが、八月に入ってから天気の良い日が続き気温も高く、夏らしい季節を十分に堪能させていただきました。

天気のいい日か、雨が降った日か、寒い日か、暖かい日か、よいのか、悪いのかは個人の生活によって、あるいはそ地域の産業によって判断が異なると思います。金光教を信じる私たちに与りましては、いずれの日、季節も人間をはじめ万物を生かし育んでくださっている「天地金乃神様」のお働きのおかげでの出来事であると受け取らせていただき、一日一日が良い日であろうと思わずにはいられないわけでありませぬ。

● 教祖様は、天地金乃神様のお働きを、「天地は日々運行を重ね、それが昼夜の区別、潮の干

満、季節の移り変わりともなっており、天からは光、熱、空気、水など限らない恵があらゆるものに分け隔てなく注がれ、地は、それを受け止めて、人間を始め万物に住みかを提供し、物を生み育て廃物を浄化してくださり、その恵みを受けて、天地の間には数え切れない命が生まれ育ち、また死んでいくのである。」

● 「天地金乃神のおかげは世界にいっぱい満ちている。そのおかげがなければ空気がないのと同じで、人間は一時も生きていられない。」と説いて下さっております。

● 人間をはじめ万物は、天地金乃神様のお働きどれ一つが欠けても生きていくことはできません。しかも、神様のお働き(恵み)のほとんどを私たちはタダでいただくので、生かされて生きていくことを考えたとき、すべてのことに優先して「お礼」を申すことがいかなければならないことが

大切ではないでしょうか。また、いくらお礼を申してもお礼の足りなさに気付かずにはおられないのではないのでしょうか。

● 教祖様は、「信心するものは、山へ行って木の切り株に腰をおろして休んでも、立つ時には礼を言う心持ちになれよ。」と、み教え下さっておりますが、私たちは、病気が治ったり、自分の願いが成就したときに、お礼の心が出てくることが多いように思います。しかし、切り株にお礼が言える心持ちになれば、家にある風呂、ストーブ、電気製品、トイレ、茶碗など、普段お世話になっているものにお礼を言う気持ちになることができると思います。

● 私たち信奉者は、天地金乃神様のお働きを日々の生活の中できちんと捉えて、改めてお礼に基つき、お礼を土台とした信心生活を進めていかなければならないと思えます。

北見教会

北見市寿町三丁目五番一号
TEL 〇一五七二四一七四七四
FAX 〇一五七二四一七四七四

今年の北見は、全国ニュースにもなった三度の断水騒ぎがありました。

このところの北見は、数年前の百年に一度の豪雪被害から竜巻やガス漏れ事故、断水と続いて、被災地(?)としても、全国にその名を知られることになりました。

その都度、各地からお見舞いのお電話などを頂いて、無事であることを有り難く思うのですが、それだけに予期せぬ事で、亡くなった方が本当にお気の毒で、素直に喜べぬ思いがします。「障子一重がままならぬ人の身」ということ、何にせよ覚悟して生きることが大切だと、年々その思いが強まります。

日々のニュースで見聞きする、自然災害や事故や事件の数々が、平和な日本というのは絵空事であると教えてくれま

す。「平和」とは何だろう、そう改めて考えさせられる昨今です。

(矢代)

網走教会

網走市北四条西一丁目六番地
TEL 〇一五二一四三二九五四
FAX 〇一五二一四三二九五四

二十年近く当教会境内の手入れの御用をつとめてこられた信徒総代さんがいます。毎朝早くから、こつこつと花壇や樹々を整備してこられました。その総代さんも九十歳を越えて今もお元気ではあるのですが、さすがに肉体労働は出来がたくなされました。

今秋、生神金光大神大祭を迎えるに当たり、役員会を開いた折、今後の境内の整備についての話し合いがなされました。

そんな中で信徒会長が次のような意見を述べてくれました。「教会には先生がいるのだから、先生がやればいいのか、こういうことは信者がやるべきとかで

はなく、これからは先生も信者も共に力を合わせてご用に取り組むべきだ。月に一度みんな集まって草取りなどをさせて頂く」とのことでした。

非常にありがたい意見でした。教会は先生の持ち物でも無ければ、信者さんだけの物でもありません。すべての人に開かれた場所です。その見地に立つて信者、教師の別なく共にご用を担っていかうという動きが出てまいりました。

このような話し合いをもつて、ご大祭をお迎えできることが、真実ありがたいことと思わせて頂いております。

(菊川)

滝上教会

紋別郡滝上町元町士別通り

昨年末から今春にかけて滝上教会では、二人の方が帰幽されました。「長年兼務されている江郷先生が信奉者のことをよくご存じだから」、「冬期間でも

なんとか遠出ができるので」ということでそのお葬儀を仕上げせてもらいましたが、その延長で引き続き兼務教会長を引き受けることになり、今のところ体調も何かと良さそうですので体力の続く限り奉仕させていただきますことになりました。

初代教会長岡本先生のご晩年が偲ばれ、布教には身体の健康のおかげを受け続けなければ、ご用もできないことを知らされ、身体の健康のおかげを受けていることにお礼をしています。

(江郷)

十勝教会

池田町旭町一丁目九番地二一
TEL 〇一五五七一三三三三
FAX 〇一五五七一三三三三

今年の十勝は八月に入ってからしばらくは本州並みの暑さが続き、九月に入ってもなかなか気温が下がりませんでした。さすがにビートの収穫が始まるころになりあちこちで初氷や初

冠雪の便りが届き始めました。

十勝教会では、春の大祭後、御霊前の改修工事をさせていただきました。いままでは納骨堂にお祀りしていた合祀した霊爾や霊神簿を御霊前の壁面に収納することができるようになり、朝晩の御祈念の時に一緒にお参りさせていただいています。

私たちが「今ここに存在する」のは祖先（霊様）がいてくれたからに他なりません。宮沢賢治は「わたくしは、あらゆる透明な幽霊の複合体でもある」という表現をしました。

私流の解釈ですがそこには、「自分がここに生きているのは、当然、親先祖があり、それだけではなくそれに関わる様々な人たちがいて、さらには自分や親先祖達の栄養となった食べ物（生き物）があつてのことだ。」とも読み取ることが出来ます。今の自分につながる命の鎖・輪である霊様たちにお礼を言いながら日々を過ごさせていただいています。

(玉置)

帯広教会

帯広市東四条南八丁目四番地
TEL 〇一五五―三―六八三五
FAX 〇一五五―三―六八三五

暑かった短い夏も終わり、平野部も草木が赤く染まるようになり、稔りの秋になりました。十月になり本部では四回にわたり生神金光大神大祭が仕えられました。今では本部の祭典の内容がインターネットで発信され、教主金光様が祭詞を奏上される様子、吉備舞や参拝者の様子などがわかり有難いことでもあります。平成二十一年の立教一五〇年時には多くの信奉者と共に御本部参拝をしたいと願っております。

日々教会でご用をさせていただいておりますが、歴史を感じる物がありました。

一つは、お結界に御神米をいれてある小さな器があります。器のふたの裏には函館教会布教三十年、記念品、大正十年九月十三日と書かれてあります。もう一つは、お結界の机であります。

す。いつの頃から使った机なのか分かりませんが、黒くすすけ、だいぶすり減っております。この二つはお結界ご用に欠かせないものであり、そして喜びや悩み事など多くの信奉者のお礼や願いのまま積み重ねたものであります。壊れることなくまた欠けることなく今まで使わせていただいたことは誠に有難いことでもあります。これから先も大切に使用させていただきたいものです。今年帯広教会布教八十五年を迎えます。改めてここまで信奉者一同おかげを蒙ってきたこと、またご用ができたことにお礼も申し上げたいと思っております。

(田中)

釧路教会

釧路市宮本一丁目五番二二号
TEL 〇一五四―四―三五一
FAX 〇一五四―四―三六一

ある朝御祈念をしていてふとふと気が付いてみると、ご神前の三宝がみな同じ色になっていく。「あれっ!」と思つて良く

見てみたが、写真に撮つても同じ色に写ると思うほどだ。

実は釧路沖地震の時、神前にお供えしてあつた八足台の物がみな落ちて、瓶子（御神酒スズ）や一升瓶なども割れたが、三宝も三台が壊れ、同じ大きさの三宝のうち三台だけ真新しいものになった。その年から、瓶子は八足台や三宝にはせず、天地書附と一緒に浜縁のしっかりした処に置いている。

それから五、六年後に根室沖地震があつて、瓶子も転がり落ちたが割れることはなかった。三宝は八足台から落ちてしま、新調したうちの一台は木目に沿つて割れかけている。

確か、釧路沖地震は息子が成人式の時だったので、今年の誕生日で息子が三三歳になるという事は、あれから十三年も経つていて、そのとき買った三宝もそれまであつた古い三宝と同じ色になり、いつの間にか歴史を積み重ねていることに気づかされた。

(江郷)

平成十七年度
道東地区教会連合会研修会

- ▼月 日 六月十六日(土)
- ▼会 場 北見教会
- ▼テ-マ 「教祖様の伝えたかったこと」
- ▼提言者 田中敬一師
- ▼参加者 二十八名
- ▼内 容 提言を受けて班別懇談。研修会終了後、会場を移動して懇親会を行いました。

平成十七年度道東地区
あいよかけよの集い

- ▼月 日 六月十七日(日)
 - ▼会 場 北見教会
 - ▼テ-マ 「共に助かる」
 - ▼提言者 田辺忠興氏
(留萌教会在籍輔教)
 - ▼参加者 二十六名
 - ▼内 容 テ-マ懇談(班別)と全体懇談
- ※教務センターと共催

第七回道東地区教会連合会
交流。パークゴルフ大会

- ▼月 日 七月十五日(日)
- ▼当 番 帯広教会
- ▼会 場 浦幌パークゴルフ場(浦幌町)
- ▼参加者 三十五名
- ▼主な成績

- ・ 団体優勝 十勝教会 準優勝 釧路教会
 - ・ 個人総合優勝 鈴木利延さん
 - ・ 男性の部一位 菊川松次郎さん
 - ・ 男性の部二位 新谷哲章さん
 - ・ 女性の部一位 西本ツギ子さん
 - ・ 女性の部二位 三浦浅子さん
- ▼パークゴルフ終了後、懇親会(バーベキュー)を行いました。
来年度の当番は釧路教会の予定です。

第二回道東地区青年交流会

- ▼月 日 八月二十五日(土)
- ▼会 場 山花公園オートキャンプ場(釧路)
- ▼参加者 十四名
- ▼内 容 懇親会(バーベキュー)

▼今年度は釧路地方での開催となり、釧路教会在籍の皆様さんが多数参加してくれました。
来年度は十勝(十勝川温泉近辺)での開催を予定しています。

みどりのひろば

- ▼月 日 八月三日(金)
 - ▼会 場 富里湖森林公園(北見市)
 - ▼参加者 二十名
 - ▼内 容 木工クラフト、ゲームなど
- ※教務センター、道北地区教

会連合会共催

▼毎年恒例の少年少女対象のキャンプが今年は北見市で開催されました。あいにく台風接近のため当初予定していた日程を短縮した内容となりましたが参加者には楽しいプログラムになったようです。

各教会生神金光大神大祭日程

- ・ 釧路教会 10月21日(日) 午前11時
- ・ 網走教会 10月28日(日) 午前11時
- ・ 北見教会 11月 3日(土) 午前11時
- ・ 帯広教会 11月11日(日) 午前11時30分
- ・ 十勝教会 11月18日(日) 午前11時
- ・ 滝上教会 月 日() 時